

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-143077

(43)Date of publication of application : 23.05.2000

(51)Int.Cl.

B65H 35/07

(21)Application number : 10-359961

(71)Applicant : WAKAMATSU YOSHIHIDE

(22)Date of filing : 02.11.1998

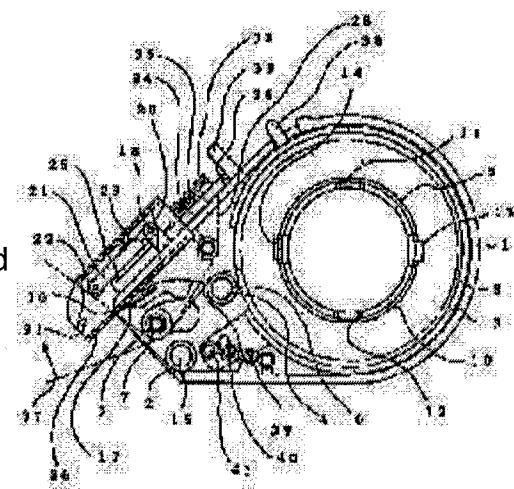
(72)Inventor : WAKAMATSU YOSHIHIDE

(54) TAPE HOLDER WITH FOLDING MECHANISM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a tape to be held with the fingertips when taken off by folding a tape end to be cut off when cutting an adhesive tape after sticking it, so as to form a nonadhesive part.

SOLUTION: Normally an adhesive tape is delivered from a guide roller 7 to a stuck object to stick. When cutting, a body 1 is inclined to press a delivered part 37 to a locking body 31, and the body 1 is moved forward to relax the tension of the tape delivered part 37, and then operated to move backward. The tape delivery part 37 is pulled in between a regulating part 36 and a regulating roller 22 to form a folded state, and the regulating roller 22 is tilted to the regulating part 36 to bond a folded part 37 in annular shape. A rotary cutting edge 17 is interlocked to cut the tape delivered part 37, and backward moving force is released to put back the locking body 32 forward. The body 1 is then pulled forward to detach the locking part 31 from the annular folded part 37, thus forming a nonadhesive part at the cut end.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-143077

(P2000-143077A)

(43) 公開日 平成12年5月23日 (2000. 5. 23)

(51) Int. CL⁷

B 6 5 H 35/07

識別記号

F I

B 6 5 H 35/07

キーワード (参考)

H 3 F 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平10-359961

(22) 出願日

平成10年11月2日 (1998. 11. 2)

(71) 出願人 596038521

若松 美秀

大阪府箕面市坊島1丁目10番3号

(72) 発明者 若松 美秀

大阪府箕面市坊島1丁目10番3号

Fターム (参考) 3F062 AA12 AB01 BB02 BC01 BC06

BD02 BD08 BD02 BF01 BF03

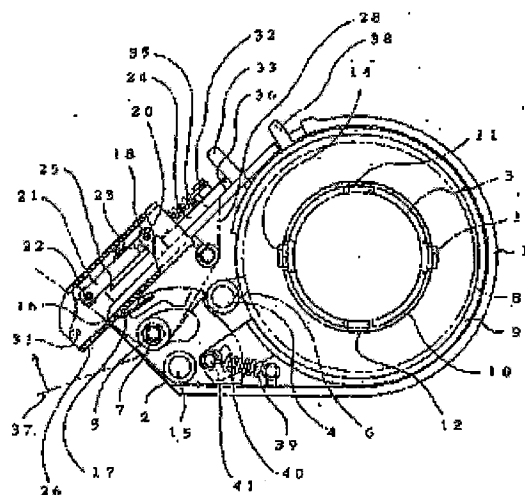
BG04 FA13

(54) 【発明の名称】 折り返し機構付きテープホルダー

(57) 【要約】

【課題】 この発明は携帯用のテープホルダーで粘着テープの粘着部に非粘着部を形成する手段に関するものである。

【解決手段】 巻回粘着テープを回動自在に支持する本体に、支持ローラーとガイドローラーを配設し、さらにガイドローラーの前方を回転する回転刃を軸支し、回転刃の前方には接近させて規制部を配設し、回転刃の刃先が規制部よりも後退した位置に回転刃をばねで保持し、規制部の前方には所定の間隔で規制ローラーを配備し、規制部と規制ローラーの間にはテープ繰り出し部の端方向両端を係止するための係止体を進退可能に配備し、しかも突出した位置にはばねで付勢して保持し、係止体は弾性体で形成し、係止体を後退させる際に規制ローラーが規制部に作動するように連動させ、さらに後退終了直前に回転刃を回動させる。上記構造に於いて切断時にテープ繰り出し部を係止部に押し当てて挿入し、次にテープの張力を緩め、係止部を後退させて折り返し部を形成



【特許請求の範囲】

【請求項1】 巻回粘着テープを回動自在に支持する本体に、テープ繰り出し部の粘着面に接触する支持ローラーと非粘着面に接着して案内するガイドローラーを配設し、該ガイドローラーの前方には回動可能に軸支した回転刃を配備し、さらに回転刃の前方でしかも回転刃に接近させて規制部を配設し、回転刃の刃先が規制部よりも後退した位置に回転刃をばねで弾力的に保持し、規制部の前方には所定の間隔で規制ローラーを配備し、規制部と規制ローラーの間にはテープ繰り出し部の端方向両端を係止するための係止体を進退可能に配備し、しかも該係止体を規制部及び規制ローラーから突出させた位置にばねで付勢して保持し、係止体は弾性体で形成し、係止体を後方へ移動する際には規制ローラーが規制部へ傾動して押圧するように連動させ、さらに移動終了直前に回転刃を回動するように連動させた折り返し機構付きテープホルダー。

【請求項2】 係止体をコイルばねで形成した請求項1記載の折り返し機構付きテープホルダー。

【請求項3】 規制ローラーのローラーを取り除き板状の規制体とした請求項1及び請求項2記載の折り返し機構付きテープホルダー。

【請求項4】 回転刃の刃先の略中央部を尖角として両側に直線刃を傾斜させた請求項1～3記載の折り返し機構付きテープホルダー。

【請求項5】 係止体をローラーとし、前方に位置する時は開き、後方移動開始時に閉じて、さらに規制ローラー又は板状の規制体が規制部を押圧する時に開く機構とした請求項1～4記載の折り返し機構付きテープホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】【発明の属する技術分野】この発明は粘着テープを貼着したのち、切断する際に切り離すテープ端を折り返して非粘着部を形成することにより、テープを剥がす時に指先で挟持できるようにした粘着テープホルダーに関するものである。

【0002】折り返し機構を備えた携帯用のテープホルダーが需要者より強く要望されているが、未だ開発されるに至っていない。

【0003】【発明が解決しようとする課題】既に貼着された粘着テープを剥がす際、テープ端が粘着しているため指先で挟持できず爪先で若干剥がして挟持部を剥がす必要があった。又梱包された荷物を開梱する際に刃物でテープを切ったりするが、梱包された商品を損傷することがあった。本発明は容易に粘着テープを剥がすためにテープ端を挟持できる非粘着部を形成するものである。

【0004】【課題を解決するための手段】巻回粘着テ

内するガイドローラーを配設し、該ガイドローラーの前方には回動可能に軸支した回転刃を配備し、さらに回転刃の前方でしかも回転刃に接近させて規制部を配設し、回転刃の刃先が規制部よりも後退した位置に回転刃をばねで弾力的に保持し、

【0005】規制部の前方には所定の間隔で規制ローラーを配備し、規制部と規制ローラーの間にはテープ繰り出し部の端方向両端を係止するための係止体を進退可能に配備し、しかも該係止体を規制部及び規制ローラーから突出させた位置にばねで付勢して保持し、係止体は弾性体で形成し、係止体を後方へ移動する際には規制ローラーが規制部へ傾動して押圧するように連動させ、さらに移動終了直前に回転刃が回動するように連動させる。

【0006】【作用】テープ繰り出し部を係止体の内側に挿通させた状態でも貼着作業は可能であるが、通常はガイドローラーから直接に被貼着物に粘着テープを繰り出して貼着を行い、切断する際に本体を傾けてテープ繰り出し部を弾性体である係止体に押圧し、係止体の内側に挿入させ、次に本体を若干前方に移動させてテープ繰り出し部の張力を緩めた状態として係止体を後方へ移動操作することにより、

【0007】テープ繰り出し部を規制部と規制ローラーの間に引き込んで折り返し状態を形成し、さらに規制ローラーを連動させて規制部へ傾動させ、折り返し部を環状に接着し、次に回転刃を連動させてテープ繰り出し部を切断し、切断したのちは後方移動する力を解除して係止体を前方に戻し、さらに本体を手前に引いて環状の折り返し部から係止体を外すことにより切断端部に非粘着部が形成される。

【0008】【発明の実施の形態】以下、実施例の図により本発明を詳細に説明する。(図1)は本発明の一部切欠いた側面図で、(図2)は(図1)の一部切欠いた正面図である。(図1)及び(図2)に於いて、本体1の外周壁の前方側に開口部2を配設し、本体1の内側には円筒軸3を配設し、さらに軸4と軸5を配設して軸4には支持ローラー6を軸5にはガイドローラー7を挿着し、

【0009】円筒軸3には巻回粘着テープ8を回動自在に支持するテープ支持体9に配設した筒状芯体10を挿入し、円筒軸3の先端部には係止片11及び係止片12を対向して突設させてテープ支持体9を係止し、筒状芯体10の先端部には係止片13及び係止片14を突設させて巻回粘着テープ8を係止し、開口部2の下部に軸15を配設して上側開口端即ち上側外周壁端16に近接して回動する回転刃17を軸支し、

【0010】上側外周壁端16から直線に形成された外周壁に突起体18及び突起体19を対向して配設し、該突起体18及び19に軸20を配設して規制ローラー支

22を板ばね23で上側外周壁端16側へ弾力的に付勢させ、

【0011】上側外周壁端16と規制ローラー22の間に可動操作体24を挿入し、可動操作体24の先端に突起部25を配設して上側外周壁端16と規制ローラー22を所定間隔で隔離し、さらに可動操作体24に可動操作枠26を形成して本体1に配設した突起部27と部分蓋28に配設した突起部29に係合させ、該可動操作枠26の側板先端部に弾性体の係止体30及び31を対向して配設し、

【0012】可動操作体24の後端にはばねの係止部32を配設した操作部33をねじで固定し、係止部32と本体1の外周部に配設した係止部34をばね35で連結して可動操作体24及び可動操作枠26を前方に付勢し、さらに規制ピン36で前道を規制して保持し、

【0013】テープ繰り出し部37を弾性体の係止体30及び31に押圧して挿入させたあと、本体1を若干前進させてテープ繰り出し部37の張力を緩め、操作部33を手前に引いて係止体30及び31を後退させることにより、テープ繰り出し部37が上側外周壁端16と規制ローラー22の間に引き込まれて折り返し状態となり、可動操作体24の先端に配設した突起部25が規制ローラー支持体21の支持軸20の下方に移動した時に、

【0014】規制ローラー22が傾動して上側外周壁端16を押圧して折り返し部を環状に接着し、接着と同時に操作部33はテープ支持体9より突設した突起部38を押し始め、テープ支持体9を回動することにより連結部39の孔40に挿通した回転刃17の係合ピン41を押し、即ち回転刃17を回動してテープ繰り出し部37を切断し、切断したのち操作部33を操作する力を解除して係止体30及び31を前進させ、次に本体1を手前に引いて環状の折り返し部から係止体30及び31を外す。

【0015】(図3)は係止部の部分斜視図で係止部をローラーにしたものである。規制部42を形成した操作支持台43の上面に進退可能に取り付けた可動操作体44の先端に規制ローラーを傾動するための突起部45を配設し、係止ローラー46を支持した係止ローラー支持体47と係止ローラー48を支持した係止ローラー支持体49を対向させて、しかも揺動可能に可動操作体44に取り付け、

【0016】さらに各々に配設した係合孔50及び係合孔51に操作支持台43の係合ピン52及び53を挿通させて係合し、可動操作体44が前方にばねで付勢された位置にある時は開き、後退開始時に閉じてテープ繰り出し部を係止し、所要の長さに引き込んだのち、再び開いて形成された環状の折り返し部から係止ローラー46及び係止ローラー48が外れる機構としたもので、可動

【0017】【発明の効果】貼着終了端に非粘着部が形成されて指先で挟持できるため容易に剥離作業を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一部切欠側面図

【図2】本発明の一部切欠正面図

【図3】係止部の部分斜視図

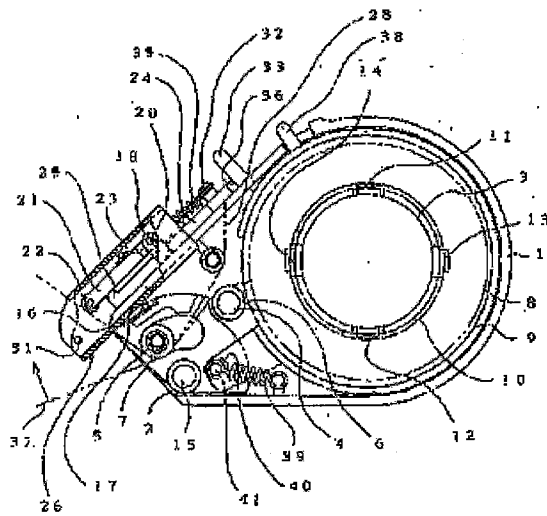
【符号の説明】

- | | |
|----|-----------|
| 1 | 本体 |
| 2 | 開口部 |
| 3 | 円筒部 |
| 4 | 軸 |
| 5 | 軸 |
| 6 | 支持ローラー |
| 7 | ガイドローラー |
| 8 | 巻回粘着テープ |
| 9 | テープ支持体 |
| 10 | 筒状芯体 |
| 11 | 係止片 |
| 12 | 係止片 |
| 13 | 係止片 |
| 14 | 係止片 |
| 15 | 軸 |
| 16 | 上側外周壁端 |
| 17 | 回転刃 |
| 18 | 突起部 |
| 19 | 突起部 |
| 20 | 軸 |
| 21 | 規制ローラー支持体 |
| 22 | 規制ローラー |
| 23 | 板ばね |
| 24 | 可動操作体 |
| 25 | 突起部 |
| 26 | 可動操作枠 |
| 27 | 突起部 |
| 28 | 部分蓋 |
| 29 | 突起部 |
| 30 | 弾性体の係止体 |
| 31 | 弾性体の係止体 |
| 32 | 係止部 |
| 33 | 操作部 |
| 34 | 係止部 |
| 35 | ばね |
| 36 | 規制ピン |
| 37 | テープ繰り出し部 |
| 38 | 突起部 |
| 39 | 連結部 |
| 40 | 孔 |

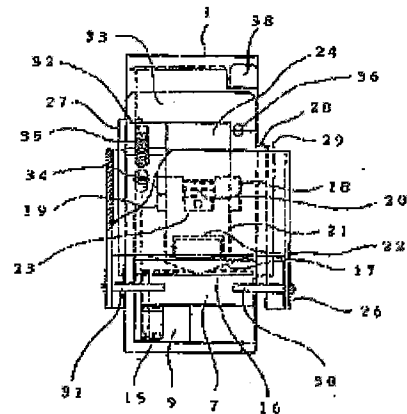
43 操作支持台
 44 可動操作体
 45 突起部
 46 係止ローラー
 47 係止ローラー支持体

* 48 係止ローラー
 49 係止ローラー支持体
 50 係合孔
 51 係合ピン
 * 52 係合ピン

【図1】



【図2】



【図3】

